

# エコな傘のしずく取り器 「アメデスーQ」

第一化工株式会社

アメデス-Q



ゴミを出さず、電気も使わず手動で簡単に傘の「しずく」が落とせ、  
特殊不織布の使用で吸水性と排水性を両立させ、耐久性抜群の  
「傘のしずく取りアメデスーQ」を開発

## 画期的な傘のしずく取り

梅雨時の雨傘は大変厄介者だ。雨傘から垂れるしずくを屋内に持ち込まないようにデパートや観光地の寺社では傘袋を使うようになっている。しかし、傘袋の底に水が溜って、あげくは破れたり、使用後の傘袋が醜く散乱したり、果ては傘袋がゴミとなってしまふ。

「傘のしずく取り“アメデスーQ”」は、傘をしずく取り器に手で差し込んで2～3回上下するだけで傘のしずくが取れるので、傘袋が不要になり、また電気も必要がなくエコな仕組みである。

他社が傘のしずく取り器を販売してたが、それはしずく取り部分にスポンジなどを使っていたため吸水性は良いのだが、排水性が悪く、内部に溜った水が腐敗して悪臭が生じたり、破損しやすかったりして、耐久性に問題があった。

“アメデスーQ”は、4種類の素材から成る不織布を開発し使用することでこの吸水性と排水性という相反する機能を両立し、耐久性も改良した。スポーツウエアに使用されている吸汗性に優れた繊維と新幹線や航空機のシートに使われる通気性の良い繊維の組合せである。これによって実用性のある傘のしずく取り器が開発された。

## 自社製品の開発の念願なる

「第一化工株式会社は、シャンプーや洗剤、食品や化粧品等のプラスチック容器のメーカーです。当社は、ボトル・キャップを成形し、これにラベルや印刷等で加飾する中小成形メーカーでは稀な一貫した工程を持っています。

このようにお客様の要求する製品を実現する能力には長けていたが、主体性を持って商品開発に取り組む風土がなく、それを改革するため、新製品開発機能を持った技術部を新設し、エコに絞って自主開発製品の検討を進めてきました。

そんな時、金融機関からの紹介で傘のしずく取りの発明者と連携でき、特許実施権を取得し、商品開発研究及び商品開発を開始し、しずく取り部分に使用する不織布の改良に苦労したが、ようやく実用化に至り商品化しました。

これにより、主体性、自主性を持った企業風土を作る第一歩を踏み出せたと考えています」との三木社長のお話。



## 自社製品開発に挑戦します。

「当社は、成形・加工という業務範囲にとらわれず、製品設計から金型・成形・加工そして容器への中身充填まで一括して受注できる体制を確立し、より一層お客様の信頼を得られる下請け企業を目指しています。

一方で自主開発製品を世に送り出したいと努めていますが、下請け生産一筋に生きてきた当社にとって、自主開発製品を送り出すということは大変革です。世間では当たり前ですが、当社にとっては、特定のお客様相手の商売から、不特定の多数のお客様を相手にすることですから、値決めの方法から販売ルート決定まで、全てが未知の世界への挑戦です。全国ネットを持った商社等販売代理店を経由するとともに、地方にきめ細かい販売網を形成していきたい。更に、エコをテーマに次なる新商品の開発を行いたい」と、挑戦を続けていく第一化工株式会社である。

## 第一化工株式会社



代表取締役社長 三木 茂生

〒 630-8453  
奈良県奈良市西九条町 5 丁目 4 番 9 号  
■ TEL ■ 0742 - 50 - 2222  
■ FAX ■ 0742 - 62 - 9707  
■ URL ■ <http://www.daiichikako.com>